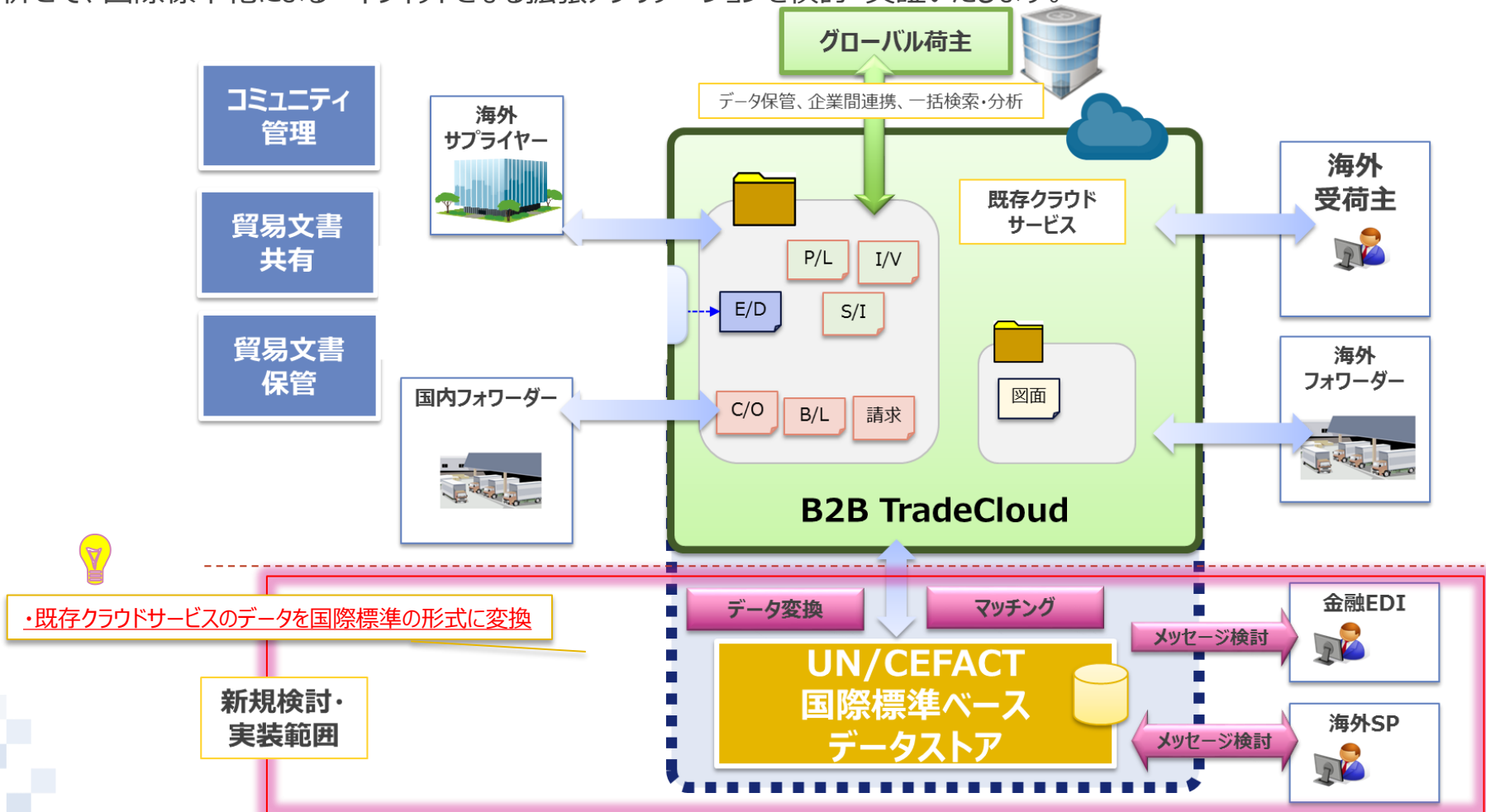


SIPS 金流商流情報連携タスクフォース
テーマ3: 貿易物流業務発注・物流費請求業務効率化

2017年2月8日(水)
株式会社NTTデータ

物流費請求業務の効率化に係る実証プロジェクト提案

実証プロジェクトでは、既存の弊社クラウドサービス（B2B TradeCloud）を基盤として活用し、そこで授受されるデータを**UN/CEFACT国際標準に準拠したデータに変換・蓄積・活用**することで、金融XML-EDIや海外サービスプロバイダなど外部サービスとの接続効率を向上させることを新規に検討し、実証を行います。（赤枠部分）
併せて、国際標準化によるベネフィットとなる拡張アプリケーションを検討・実証いたします。



調査・実証 4 カテゴリーの概要

カテゴリーA 貿易文書の企業間共有と 電子保管

貿易における企業間の貿易文書共有・保管を行う。
本実証では、国際標準へマッピングを行う際の元データをプールし、国際標準化したデータストアと共に、アプリケーションからアクセスするための基盤を提供する。
利用者へのベネフィットの基礎となり、サービスの普及促進を支えることを確認する。

カテゴリーB コンプライアンス強化のための 許可書-Invoiceマッチング

I/VをUN/CEFACTの国際標準に準拠してクラウド内でマッピングし、国際標準化したデータストアとして蓄積する。
国際標準化したI/Vを通関システムの許可書情報とマッチングするアプリケーションにより、現在手動で行っている作業を自動化し、国際標準化のメリットを検証する。

カテゴリーC 物流費請求・入金のチェックおよび 金融XML-EDIとの連携検討

カテゴリーBのマッチングに加え、物流企業請求書もUN/CEFACTの国際標準にクラウド内でマッピングし、I/V－許可書－請求情報のマッチングフィージビリティ検証を行うと共に、発注・出荷証跡・請求のマッチングにより、請求確認業務の効率化を検証する。また、金融XML-EDI向け電文生成に効率化に関する検討も行う。

カテゴリーD 海外クラウドサービス (サービスプロバイダ) との連携

クラウドサービス間のデータ連携検討として海外クラウドサービス
(CrimsonLogic：シンガポール税関関連政府系企業で広くB2B2Gサービスをアジアに展開) と共に国際標準に準拠したXML電文の送受信フィージビリティ、およびメリットの検討を行う。

国際標準化作業の進め方

下記の要領で国際標準化作業を進めたいと考えております。

標準化対象ドキュメントとベースとする標準

標準化対象ドキュメント	説明	ベースとする標準
Invoice	荷主企業が商品を輸出するための文書（送り状） 物流企業は送り状に基づいて輸出物流サービスを提供	CII Invoice
請求書	物流企業が行った輸出物流サービスの対価を請求する文書	CII Invoice

設計の進め方

どちらの文書も大きくは対応が付く想定
上位から対応付けを行うが、細目の対応付けは行わず、独自項目を定義
独自項目は新たなBIEとして提案

バリデーションの考え方

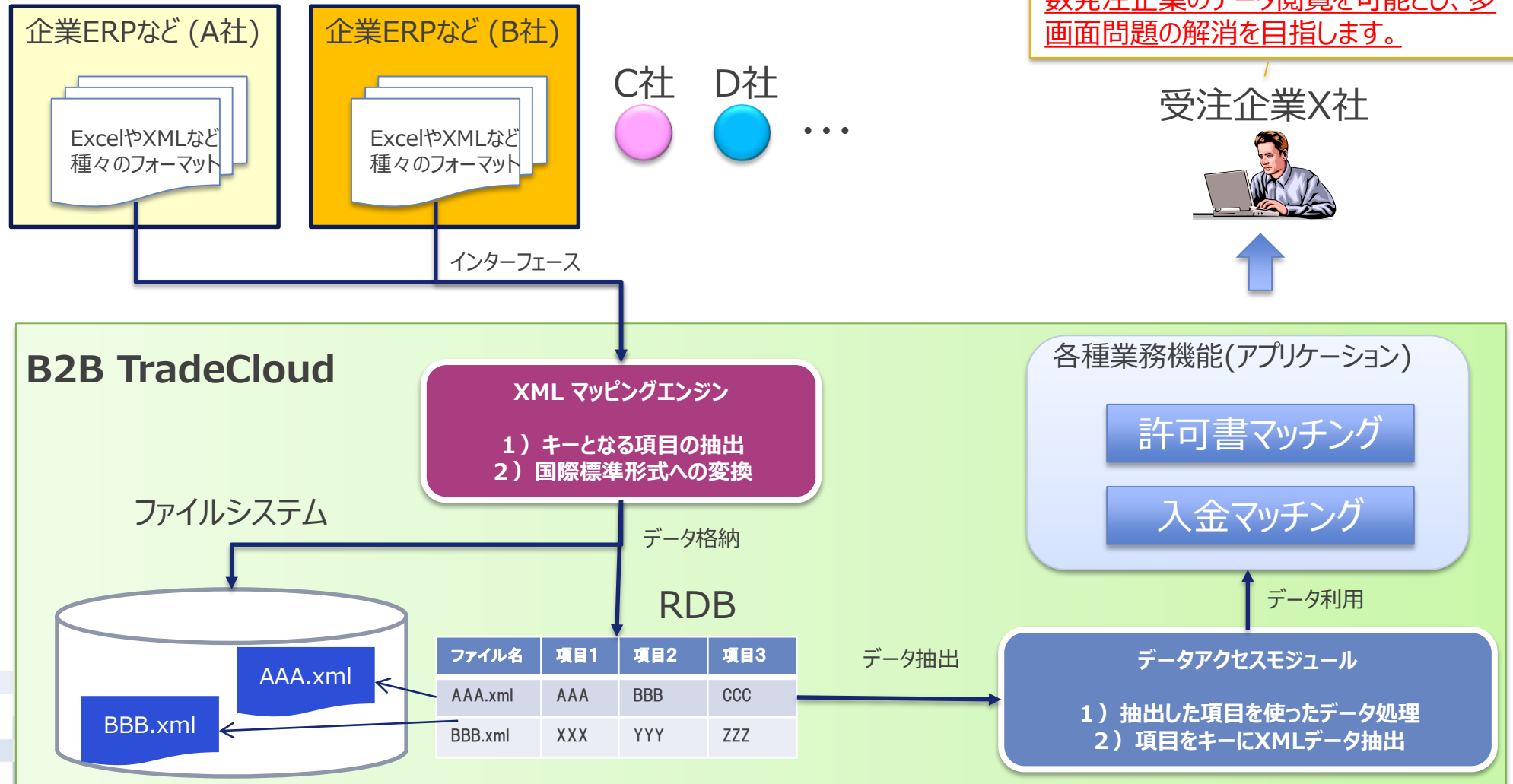
メッセージ定義は、SIPSで用いられている定義形式で作成し、SIPSの定義を用いてバリデーションを行う

標準とのマッチング状況

Invoice: CII Invoiceは対応が付く想定
請求書: CII Invoiceは大きくは対応が付くが、請求書の細目はサービスのため異なりがある

標準メッセージの実装・利用イメージ

標準メッセージの実装・利用イメージは下記の通りです。
XMLマッピングエンジンを構築し、国際標準形式への変換を行います。



金融XML-EDIとの連携イメージ

B2B TradeCloudと金融XML-EDIとの連携の実現イメージを下記に示します。
CII Remittance Adviceの自動生成を検討し、金融XML-EDIとの連携を目指します。

発注企業側：

B2B TradeCloudで作成したマッチングレポートと請求明細を元にCII Remittance Advice形式で振込明細を自動生成し、それを統合して総合振込（Pain.001）を金融XML-EDIサービスに送信する。

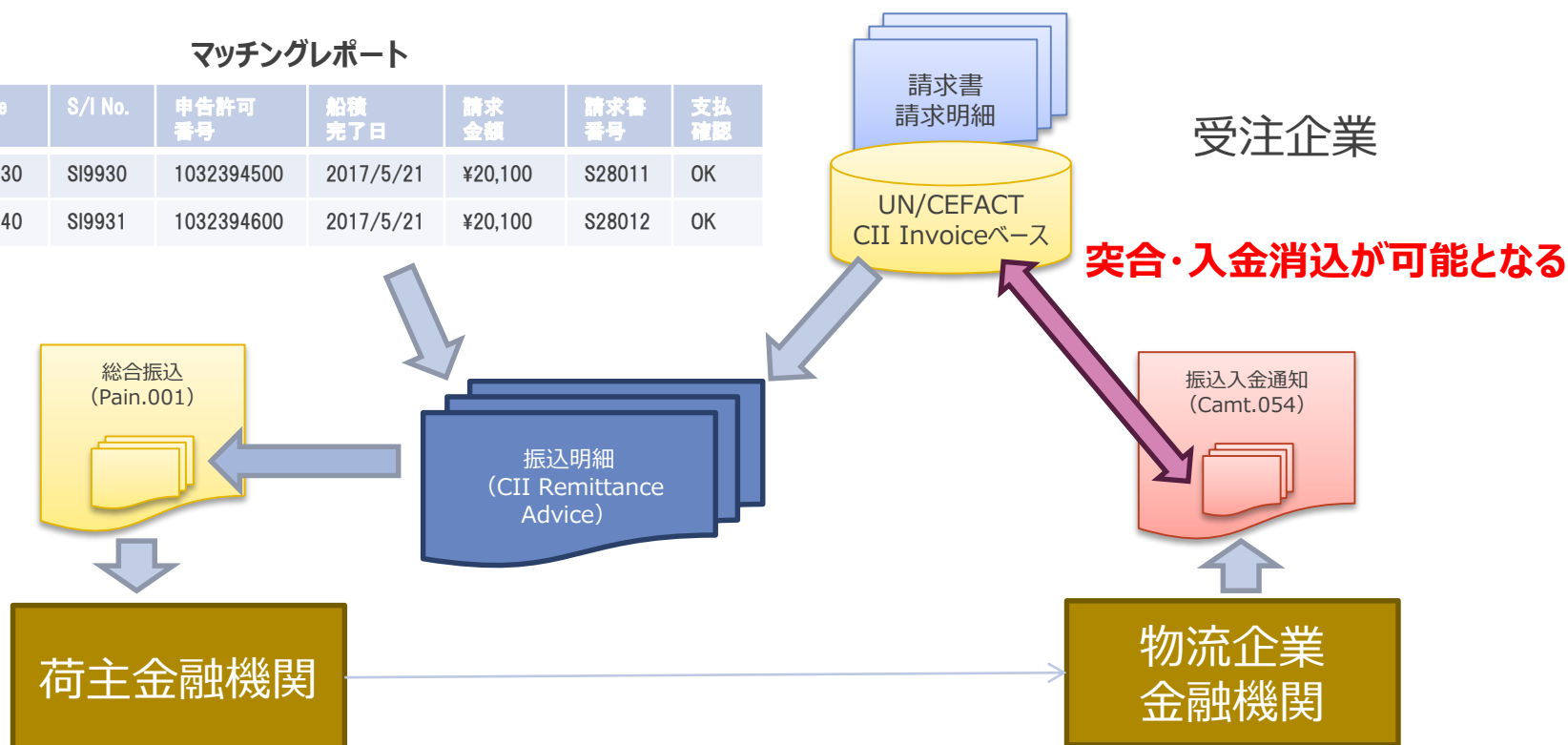
受注企業側

振込入金通知（Camt.054）を受信し、請求明細と入金の突合、入金消込の自動実行が可能となる。

発注企業

マッチングレポート

Invoice No.	S/I No.	申告許可番号	船積完了日	請求金額	請求書番号	支払確認
1002030	SI9930	1032394500	2017/5/21	¥20,100	S28011	OK
1002040	SI9931	1032394600	2017/5/21	¥20,100	S28012	OK



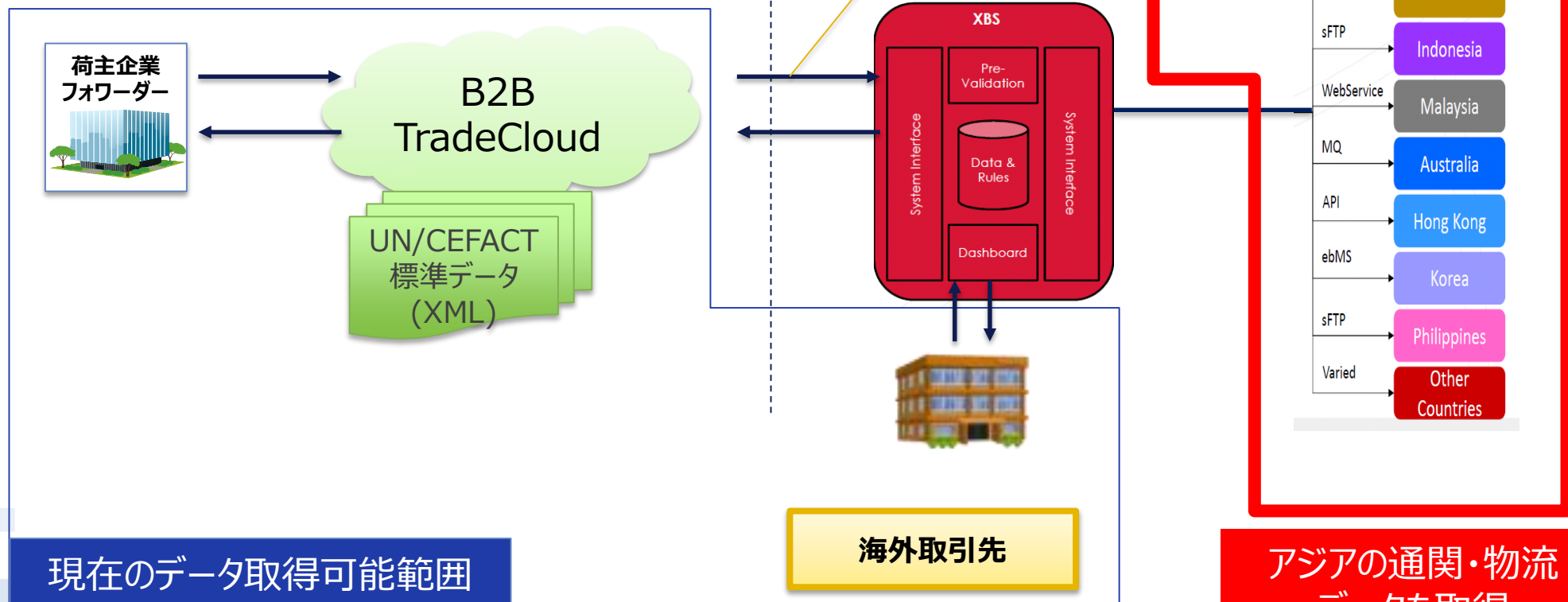
海外クラウドサービス（サービスプロバイダ）との連携イメージ

現在の貿易従事者の業務課題として、海外での物流ステータスが取得できないという点があります。海外サービスプロバイダとのクラウド間接続を経由し、海外での通関・物流ステータスデータを取得するためのUN/CEFACT国際標準準拠によるメッセージ交換（XML形式）を検討し、試験的接続を計画しています。海外の物流ステータスデータは、IoTデータとして貨物のトレーサビリティ拡張も実現するものとなります。

日系グローバル荷主



UN/CEFACTデータ形式に従うことで
海外サービスプロバイダ接続の実現を目指します。



(参考) 物流企業の請求・入金確認業務に関する事前ヒアリング結果

フォワーダーから見た現行の請求・仕訳処理における主な課題との対応付け

課題 1
物流業界における
標準がないため、
請求単位が荷主
により異なる。

複数の顧客荷主に対応するため、
1000以上の請求コードをフォ
ワーダー側で用意し、個別にマッ
チングしている。

課題 2
仕訳データを提
供する場合、荷
主ごとの勘定科
目コードに請求
コードをマッチング

仕訳データの項目について、一
つ一つ意味を荷主とすり合わせ
る必要がある。また、勘定科目
マスターを荷主ごとに保持し、
変更時はメンテナンス必要。

課題 3
入金時の消し込
み作業が経理部
門の負担となっ
ている。

入金情報に明細を付加してくる
荷主顧客は50%ぐらい。

課題 4
訂正が発生する
場合の
処理方法が荷主
により異なる。

請求情報上書き、赤黒データ送
信など、荷主により異なる。また、
経理締め日が、第2営業日の荷
主が多く、すばやい対応が必要。

**銀行界におけるXML／拡張EDIとの連携によって
将来的にフォワーダー課題3が解決される可能性について
検討したい。**

(他のフォワーダー課題については、将来的な検討課題としたい。)



NTT DATA

Global IT Innovator